

「人」と「まち」をつなぐ

エビの

Ebino city Public relations

広 報

1

2014
JAN
vol.567



今月の掲載記事

年頭のあいさつ

平成 26 年成人式

CIVIC NEWS

まちのわだい

Face 人 鶴永 達さん

うまかもん「ドイツパン」

年頭のあいさつ



えびの市長
村岡隆明
Muraoka Takuaki

新年明けましておめでとうございませう。

皆さまにおかれましては、明るい希望に満ちた平成26年の新春をお迎えのことと存じ、心からお喜びを申し上げます。

昨年は、11月に田代自治会が、国内最高峰の農林水産業コンクールである「第52回農林水産祭むらづくり部門」において、最高賞の天皇杯を受賞するとう、大変明るい話題と元気をいただきました。これは、自治会が世代を超えて同じ価値観を共有し、次世代へと伝えていく姿が全国のむらづくり活動のモデルになり得ると高く評価されたものです。えびの市にとりまして、一昨年の第10回全国和牛能力共進会の日本一に続いての快挙で、非常にうれしく誇りに思います。地域の活性化なくして、えびの市の発展はあり得ません。地域住民が自立し、責任と誇りを持って、自ら未来を切り開いていく姿を、えびの市全体の地域づくりにつなげてまいりたいと考えております。

また、昨年4月にオープン

しました道の駅えびのは、昨年末までに来場者が40万人を突破し、農畜産物をはじめとするえびの市の物産品の販売はもとより、情報発信の拠点として発展しております。市内各地でも、多くの新しいイベントが開催され、入込み客が増えておりますので、今後はこれらの増加する交流人口を定住促進につなげてまいります。

本年は、えびの市を未来に向けてさらに大きく前進させる年と位置づけ、地域の皆さまとの対話に努め、市民の皆さまの故郷「えびの」を思いやる気持ちを、「結いの力」として前進する力に変え、第5次総合計画に掲げた「大自然と人々が融合し『新たな力』が躍動するまちえびの」をスローガンに「南九州の交流拠点都市」を目指してまいります。

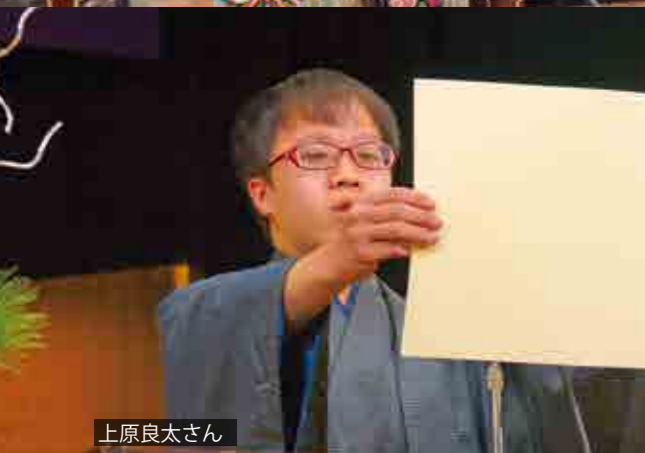
結びに、市政運営に対する変わらぬご支援ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。今年が皆さまにとりまして健やかで、穏やかなそして平和な年でありませうようお祈りいたしまして年頭のあいさついたします。



新成人者感謝と誓いのことを述べた向井千晶さん(上江中出身)笠掛誠さん(加久藤中出身)



尾座原睦稀さん



上原良太さん



宮崎こずえさん



平成26年成人式が、1月5日、市文化センターで行われました。式には、はかまやスーツ、晴れ着姿に身を包んだ新成人171人(男92人、女79人)が参加しました。

式では、上原良太さん(真幸中出身)が市民憲章を朗読。宮崎こずえさん(飯野中出身)が成人証書と記念品を受領しました。

式辞で村岡市長は「皆さんには、周りの人との絆を大切に、そして、目標を持ち、ゆるぎない信念と決意で人生を突き進み、明るい未来への道のりを切り開いていってください」と新成人にエールを送りました。

新成人代表として尾座原睦稀さん(加久藤中出身)が「社会の新たな力となるよう若者らしく努力していきます。地域に残る者、外で働く者、立場はそれぞれ異なりますが、どんな困難に出会っても気持ちだけは強く持ち、日々精進していきます」と意見発表しました。

式典終了後、会場では、小倉里恵さんの電子オルガン演奏に合わせ、ふるさとであるえびの市の紹介と新成人の中学校時代の写真がスクリーンに流されました。会場には、懐かしい写真があがっていました。

平成26年 えびの市成人式

COMING OF AGE CELEBRATION



ご利用ください。ホームページ「Ebino Colors」 えびの市の魅力を写真で紹介

市では、地域おこし協力隊員として雇用したプロネイチャーカメラマンの撮影した写真を活用し、情報を発信するホームページ「Ebino Colors」を開設しました。写真の撮影を行ったのは、廣澤順也隊員です。ホームページのデザインと構築についても、隊員が自ら行っています。



開設した「Ebino Colors」のアピールポイントとは、都市部から移住してきた隊員が、都市生活者の視点でえびの市の魅力を再発見し、撮影した写真を公開するところと、このことにより、ありきたりの観光写真ではなく、市民も気づくことのない、かっこいい市の魅力をPRできることが期待できます。「Ebino Colors」の写真は、無料で活用できます。



きます。市民の利用のほか、県内外のガイド本や情報誌、えびの市を紹介するホームページといったものに、広く活用してもらうことで、えびの市の魅力が広く発信されることを期待しています。

■市企画課政策係
☎ 35・1111（内線451）

■ホームページアドレス
<http://www.city.ebino.lg.jp/ebinocolors/>



2月は防疫強化月間です 防疫体制は万全ですか

えびの市で口蹄疫が発生して3年が経ちます。近隣諸国では、未だ口蹄疫が猛威をふるい、国内でも、口蹄疫がいつ発生してもおかしくない状況です。

宮崎県や鹿児島県では、豚流行性下痢（届出伝染病）などの発生が続いています。

畜産農家の皆さん、飼養家の健康状態等の観察と飼養管理基準の徹底等、口蹄疫等の伝染病の侵入防止に万全を期すようお願いいたします。

【豚流行性下痢（届出伝染病）】

感染した豚や汚染された車両などが感染源になります。導入豚の隔離観察や車両等の消毒の徹底をお願いします。

【毎月20日は、消毒の日】

毎月20日は、県下一斉消毒の日です。以下のことを心がけましょう。

- 畜舎の消毒
- 踏み込み消毒槽の点検
- 畜舎周囲の清掃

■市畜産農政課畜産振興室
☎ 35・1111 内線(222)



畜舎周辺はもちろん、畜舎内も消毒を

ご利用ください空き家バンク活動補助金 空き家改修費用を助成

市では、定住促進を目的として、市内の空き家・空き地を所有者に登録してもらい、ホームページで全国へ発信する「えびの市空き家バンク」制度を行っています。

「えびの市空き家バンク活動事業補助金」は、空き家バンクに登録された空き家について、市外からの移住者と賃貸借契約が結ばれた場合、家屋の改修等にかかる費用の一部を補助する制度です。

【補助対象者】

空き家バンクに、賃貸を目的

として空き家を登録している人

【補助対象物件】

空き家バンクに登録し、3年以上定住する見込みのある市外からの移住者との間に、年度内に賃貸借契約が結ばれ、かつ不動産業者に登録されていない物件

【補助対象事業】

台所や風呂・トイレ等の修繕、内装や屋根等の改修、家財道具の運搬および廃棄、屋内の清掃など

【補助金の額】

補助対象事業にかかる費用の2分の1（上限40万円）
※申請の方法など詳しいことは市企画課政策係までお問い合わせください。

※補助金申請の有無に関係なく、「えびの市空き家バンク」への登録は可能です。市内に空き家・空き地（宅地に限りません）を所有していて、売りたい、貸したいと考える人は、気軽に問い合わせください。

■市企画課政策係

☎ 35・1111 内線(322)



空いている土地や家屋を空き家バンクに登録しませんか



ま・ち・の・わ・だ・い



110番の日グラウンドゴルフ

110番の正しい利用を

1月10日、永山運動公園で「110番の日グラウンドゴルフ大会」が行われました。大会には、市民のほか、警察署員など505人が参加しました。
この大会は、警察の緊急電話「110番」の正しい利用の啓発などを目的に、1月10日の110番の日に毎年行われています。
競技終了後には、警察署員による「振り込め詐欺」などにあわないための講話が行われました。



矢岳高原サンライズフェスタ

初日に願いを込めて

1月1日、矢岳高原から初日の出を望む「矢岳高原サンライズフェスタ」が行われました。フェスタには、市内外から約150人が参加しました。
日の出時刻。雲の合間から、朝日が顔をのぞかせると、会場は参加者の歓声に包まれていました。
日南市から参加の古川貴大さんは「海からとは違い、山から見る日の出はとても新鮮でした。きれいですね」と話していました。

12月15日、市文化センターで「第九でえびのを元気に」公演が行われました。公演には、公募で結成した市民合唱団など110人が出演。電子オルガンの演奏に合わせ、ベートーベンの交響曲第9番第4楽章「歓喜の歌」を披露しました。

この公演は、市民提案運営型自主文化事業を活用し、市民グループ「第九を歌う会」主催で行われました。市内外から公演を見に来た観客約530人は、演奏や曲が終わるたび盛んな拍手を送っていました。

第九でえびのを元気に公演

市民合唱団が歓喜の歌



1月3日から7日にかけて、市内各地の田んぼや河川敷で「竹はしらかし」が行われました。湯田橋下流の河川敷では、1月4日に、牧の原、東川北、湯田、西郷、榎田地区合同の竹はしらかしが行われました。



市内各地で竹はしらかし

一年間の無病息災を願う

竹はしらかしは、一年間の無病息災を願って行われているものです。組んだ竹のやぐらで門松やしめ縄などを燃やします。焼いた竹を持ち帰り、家に立てかけておくと、魔よけになると言われています。



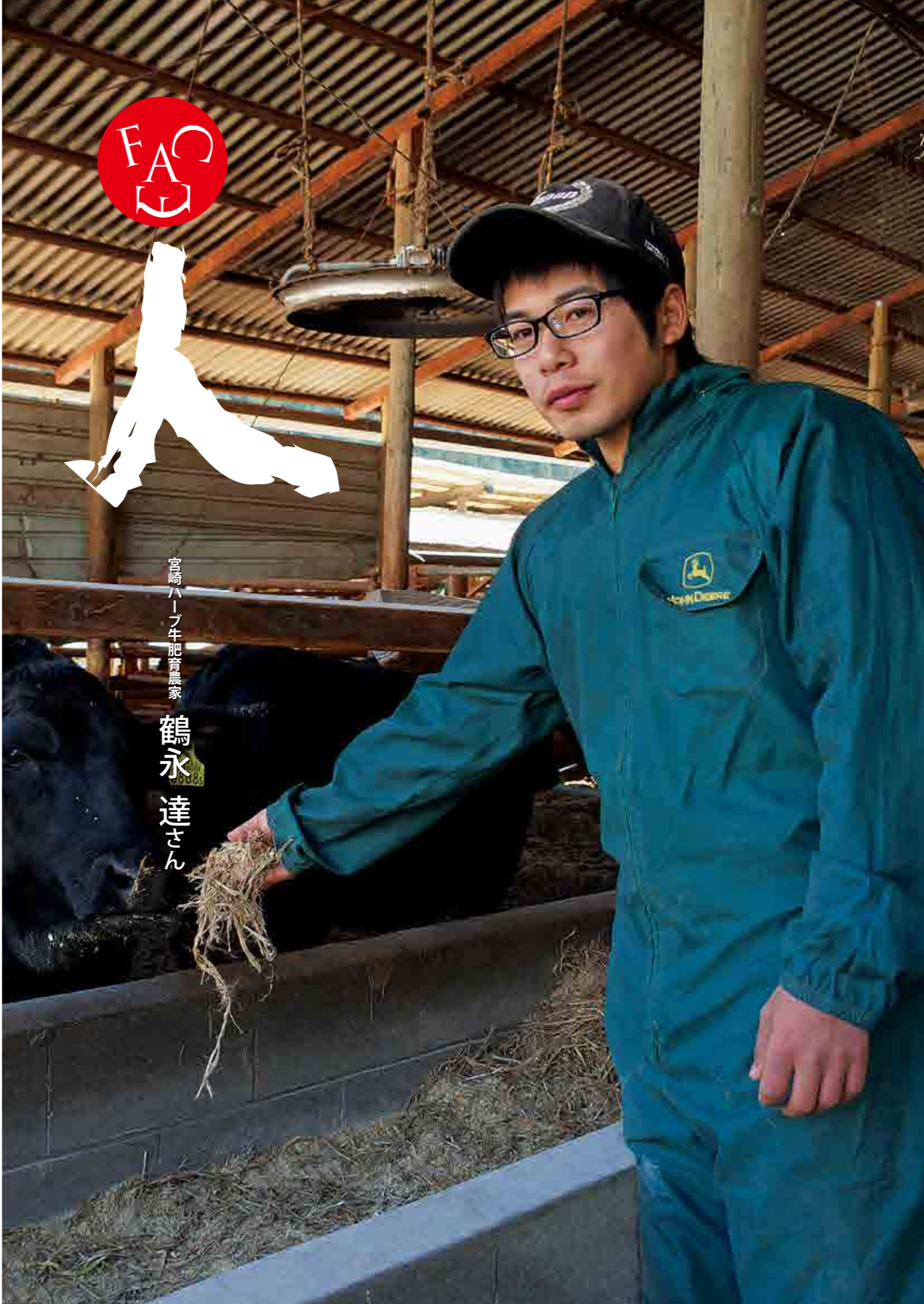
約47年ぶりに消防団旗、分団旗を新調
新団旗の下、決意新たに

えびの市消防団の団旗と分団旗が新調されました。新調されたのは、団旗1本と市内3つの分団の分団旗3本です。これまでの消防団旗は約47年前の三町合併時に作られたもので老朽化していました。
12月27日、市役所で消防団旗、分団旗の引き渡し式が行われ、村岡市長から原田芳和団長に団旗が引き渡されました。
原田団長は「新団旗のもと、団員一丸となってがんばっていききたい」と話していました。



ジルバー人材センターがしめ縄を寄贈
気持ちよく新年を迎えて

12月25日、社団法人シルバー人材センターが市役所など13か所にしめ縄を贈りました。市役所では、溝辺一男理事長と会員の徳留秀正さんが市長にしめ縄を手渡ししました。
しめ縄は、同センターの会員の徳留秀正さんと田中敏治さんの2人による手づくりです。
溝辺理事長は「来年は、今年よりも、もっといい年になるようにと願っています」と話していました。



宮崎ハーブ牛肥育農家 鶴永達さん

ご存知ですか「宮崎ハーブ牛」

「宮崎ハーブ牛は、脂肪に含まれるオレイン酸の割合が多く味は抜群です。一度食べてみてください」と話すのは、宮崎ハーブ牛肥育農家の鶴永達さん（西長江浦下）です。

宮崎ハーブ牛（以下ハーブ牛）とは、主に4種類のハーブ（オレガノ、シナモン、ジンジャー、ガリリック）とビタミンEを強化した飼料で育てられます。ハーブ牛には、ホルスタイン種の雄牛とホルスタイン種の雌牛との掛け合わせと黒毛和種の雄牛とホルスタイン種の雌牛との掛け合わせ（交雑種）などがあります。宮崎県内では、30農場、えびの市では13農場で飼育されています。

鶴永さんの家は、3代続くハーブ牛肥育農家。約680頭のハーブ牛を飼育しています。鶴永さんは、高校卒業後、県立農業大学校へ進学。卒業後、ハーブ牛の肥育を始めました。「幼い時からエサやりや牛舎の清掃などをしていました。祖父から続いているハーブ牛肥育農家を僕の代で絶やしてはいけないと思いました」

最高のハーブ牛のため日々模索

ハーブ牛の肥育を始めて6年が経つ鶴永さん。今は、仕事にとてもやりがいを感じているそうです。「自分が牛と向き合った分だけ、自分の思い描く牛に育っていきます。そういうところが好きです」



祖父や父の良いところは受け継ぎながらも、自分なりの工夫もしています。「以前は牛舎の通路が狭く、作業しにくいことがありました。柱を何本か取り除き、通路を広げ、機械で作業ができるようにしました」

牛に与えるエサにもこだわっている鶴永さん。「黒毛和牛は、肉にさしを入れる育て方ですが、ハーブ牛は、健康で大きな牛をつくる育て方をします。そのため、飼料の配合

ハーブ牛の魅力を伝えたい

にはひと工夫しています。どうやったら最高のハーブ牛ができるのか日々、模索しています」

まだまだ認知不足のハーブ牛

黒毛和牛に比べてあまり一般に知られていないハーブ牛。鶴永さんは「ハーブ牛の試食販売の時、『このお肉おいしいけど、ハーブ牛って知らなかった』という声を聞きました。今後は、行政や県乳用牛肥育事業協同組合に頼るだけではなく、自分たちでもPRしていくなくてはいいけない。もっと努力していかないといいけない」と語ります。

新たな取り組みにもチャレンジしています。「道の駅えびののイベントで、ハーブ牛カルピコロッケを組合の青年部の仲間で作って販売しました。ものすごく好評で、700個がすぐに完売しました」

県産黒毛和牛の全国和牛能力共進会連覇は、とても刺激になったという鶴永さん。「ハーブ牛肥育農家も負けられません。最高のハーブ牛を育てます。皆さんも、ぜひハーブ牛を食べてみてください」



Profile

つるなが・とおる／西長江浦下／26歳／趣味：ドライブ、音楽鑑賞、スポーツなどで体を動かすこと（最近、忙しくて体を動かしていません）



うまかまん

今月紹介するのは、国際料理教室で作った「ドイツパン」です。

ドイツパンは、日本のパンより食感がしっかりしています。外はパリパリ、中は、ふんわりもっちりとした食感です。

生地には、小麦粉と同量のジャガイモを混ぜて作ります。お好みの具材を加えると自分だけのドイツパンを作ることができます。ドイツでは、具材としてひまわりの種を入れたものが人気です。

フックスさん（小林市国際交流員）は、「しっとりふんわり焼くには、温度調節がとても重要です。でき上がる前に、オーブンを開けて確認し、こげないように注意してください」と話していました。



外はパリパリ、中はもっちりとした食感がたまらない一品

今月の一品 ドイツパン

Recipe レシピ

【材料】

ジャガイモ 500g、オリーブオイル 大さじ1、砂糖 小さじ1、お湯 125ml
A：小麦粉 500g、塩 小さじ1、ドライイースト 10g（小さじ3強）

【作り方】

①ジャガイモの皮をむき、すりおろす。それにお湯をかけ、砂糖とオリーブオイルを加えよく混ぜる。
②Aを合わせ、①を加え混ぜる。
③5分ほど生地をこね、温かい場所で発酵させる。2倍ぐらいに膨らんだら、もう一度5分ほど生地をこねる。
④生地を丸くし、ナイフで上に3つ切り込みを入れ、225℃のオーブンで25分焼く。さらに温度を下げ、30分焼く。



【紹介者】フックス・シャネットさん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

環霧島探訪

第3回目は湧水町の吉松駅を紹介します。

【吉松駅】
湧水町にあるJR九州吉都線（吉松〜都城）と肥薩線（隼人〜八代）の分岐駅です。

明治36年9月5日の開業以来、今年で111年を迎えます。吉松駅は、当時の鹿児島本線・日豊本線の分岐駅となり、鉄道の要衝として諸施設が建設され、一寒村に過ぎなかった吉松は一躍鉄道の町として人や地域のつながりを生み、町の産業経済の発展に大きく貢献しました。

国鉄の民営化など、時代の潮流の受け入れを余儀なくされるなど情勢は変わってきました。



町民は鉄道と何らかの関わりを持って生きてきました。

昭和30年代はC51形、C55形、昭和40年代になるとC55形、C57形、D51形が主力機関車として霧島山麓を疾走しました。
昭和40年代には、吉都線を經由し、宮崎〜熊本〜博多まで急行「えびの号」・特急「おおよど号」も運行され、地域の交通手段や生活物資の輸送の大動脈として重要な役割を果たしてきました。



【駅舎】
吉松駅は明治36年、鹿児島本線の駅として開業し、昭和43年に現在の駅舎に建て替えられました。駅周辺には蒸気機関車C5552が静態保存されており、100年前の石蔵や資料館があり、歴史の重みを感じます。

隣接する「観光SL会館」では食事ができます。ホルモン煮込みを使った「ぼっぼ井」やホルモン味噌煮がおすすです。どちらも土・日限定となっています。このほか、町の特産品も販売しています。

EVENTS OF KANKIRISHIMA

霧島市

初午祭（はつうまさい）



- 日時＝2月23日（日）午前9時30分～
- 場所＝鹿児島神宮周辺
- 内容＝花飾りや鈴で着飾った「鈴かけ馬」が太鼓や笛のリズムに合わせてまちを練り歩きます。

実行委員会（霧島市観光課内） ☎0995-45-5111

小林市

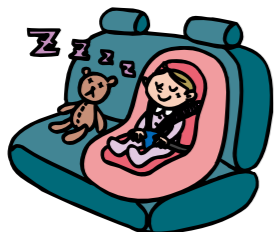


こばやし霧島連山絶景ウォーク

- 日時＝2月22日（土）、23日（日）午前8時～
- 場所＝小林駅前中央ふれあい広場
- 参加料＝大人1,800円（小中学生以下無料）
※当日受付2,000円
※事前予約をお勧めします。

実行委員会 ☎23-1174

全席シートベルト着用を



平成25年10月に日本自動車連盟と警視庁が合同で実施したシートベルト着用状況全国調査での宮崎県のシートベルト着用率は、
 【運転席】99.1%（全国8位、前年は4位）
 【助手席】94.9%（全国17位、前年は33位）
 【後部座席】27.4%（全国40位、前年は46位）
 でした。

運転する人は、同乗者全員のシートベルト着用を確認して出発するようにしましょう。また、6歳未満の幼児を乗せる時は、チャイルドシートの着用が法律で義務付けられています。大切な命を事故から守るシートベルト・チャイルドシートを必ず着用しましょう。

12月の交通事故発生状況	人身	7件	本年累計	106件
	物件	23件	本年累計	310件

災害への備えは大丈夫？



平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機として、毎年1月17日が「防災とボランティアの日」、1月15日～1月21日までが「防災とボランティア週間」と定められています。この週間は、災害時のボランティア活動や住民の自主的な防災活動についての認識を深め、災害への備えを充実強化することを目的としています。

「天災は、忘れたころにやってくる」ということわざがあるように、災害は、気持ちが緩んでいたり、備えがおろそかになっていたりしたときにやってきます。新年を迎えました。この機にもう一度災害への備えを行ってください。

12月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	2件	年計	16件
	救急	73件	年計	886件

まちづくり活動

ぶらんど21基金助成団体の活動紹介



かつつ広場で行われた納涼祭り

人が集まり笑顔があふれる活動を「ガッツ！かつつ」

「ガッツ！かつつ」は、国の登録有形文化財になる予定のJRえびの駅舎を拠点に、人が集まるまちづくりのため、地区の有志20人で結成しました。
 平成22年度から3年間、ぶらんど21助成金の交付を受け、環境整備やイベント活動を行いました。現在も、駅を訪れた人が気持ちよく過ごせるように、駅周辺の除草や花の植栽を行っています。地域住民と共に整備した駅東

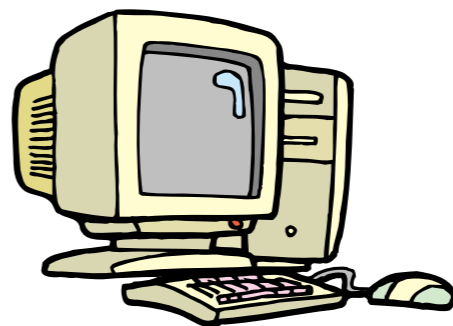
側広場を「かつつ広場」と名づけ、そこに人が集まるイベントを企画しています。毎年8月には、かつつ広場で納涼祭りを開催しています。祭りでは、ビアガーデンや若者たちが結成した「ガッツ！かつつバンド」の生演奏が行われ、多くの人でにぎわいます。
 平成25年度は、JR吉都線開業100周年記念イベントの一環として、駅前のイルミネーションを設置しました。納涼祭りとイルミ



ガッツ！かつつ 代表者 西園章二さん

ネーションの設置は、来年度以降も継続して行いますので、ぜひお出てください。
 「ガッツ！かつつ」は、これから、えびの駅に人が集まり笑顔があふれる活動に取り組んでいきます。

くらしのメモ



子どもと決めるネット利用のルール

ネット上に次々と登場するサービス。それらは便利な反面、子どもたちにとって大きな危険を含んでいる場合があります。子どもたちがネットを健全に利用するにはルール作りとそれを守り続けさせる工夫が必要です。
ルールは同意のうえで決める
 インターネットを利用するルールは、親が一方的に決めず、面倒でも親子で納得いくまで話し合い、子どもが同意したうえで決めるこ

とが大事です。また、できるだけ具体的に覚えやすいルールになるよう工夫しましょう。ルールが守られなかったときの約束も決めておきましょう。
 年齢の低い子どもには、努力していることを定期的に褒める事も大事です。
押さえておきたい基本的なルール
 ■パソコン・携帯電話でのルール
 「1日〇時間以上は使用しない」「夜〇時以降は使用しない」「学校

には携帯電話を持って行かない」「フィルタリング機能は付けておく」など
 ■メールでのルール
 「迷惑メールやチェーンメールは無視をする」「身に覚えのない請求には反応せずに親に相談する」など
 ■ホームページでのルール
 「怪しいサイトには近づかない」「ソーシャルメディアなどに不意な情報を書き込まない」など

文：市民環境課生活環境係

いきいき！健康



家庭内で「感染性胃腸炎」の感染予防を

感染性胃腸炎は、ウイルスなどが原因となつて発症する胃腸炎のことです。ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等のウイルス性胃腸炎の総称です。
 感染性胃腸炎の潜伏期間は、1～2日です。主な症状は、下痢、嘔吐、腹痛があります。下痢が治まっても1週間くらいは便からウイルスが検出されます。この病

気は、冬場に多いのが特徴です。乳幼児がかかりやすく、嘔吐下痢
 症とも言います。
【感染経路】
 「経口感染」ウイルスに感染した飲料水や食物を摂取して感染する。「接触感染」汚染した手指、衣服、物品等に触ることで感染する。「飛沫感染」ウイルスに感染している人の吐物などが飛び散り、その飛沫を吸い込むことで感染する。
【感染予防】
 ①流水と石鹸でしっかりと手洗います。手拭タオルを共有しない。

②食材は十分に洗浄、加熱する。
 ③吐物や便はマスクと手袋をしてペーパータオル等でふき取る。使った物は汚物と一緒にビニール袋に入れ、密閉して捨てる。処理が終わったら換気・手洗いをする。
 ④吐いたところは0・1%、便器ドアノブなどは0・02%に薄めた家庭用塩素系洗剤で拭く。
 ※0・1%の消毒液は、ペットボトル500mlの水に、そのふた2杯分の塩素系漂白剤を入れるのが目安

文：山之口保健師

BOOKS
おすすめの一冊



田舎暮らしを愉しむ
浦生芳子／著
(鉦脈社)



サラダでげんき
角野栄子／作 長新太／絵
(株式会社福音館書店)

地 域活性化のため、「NPO 法人手仕事舎そうあい」を設立し、歴史ある持永邸で地域の人々と町家カフェ「もちなが邸」を運営している浦生芳子さん。この本には、田舎暮らしの魅力的な生活が掲載されています。季節の野菜を作り、旬の恵みをいただく。「そこにあるものを食べる人と土や風土は切り離せない」と田舎暮らしの輝きを発信しています。

り っちゃん、病気のお母さんのために何かいいことをしてあげたいと思いました。そこで、りっちゃんはお母さんが元気になるサラダをつくることにしました。サラダをつくっているといろいろな動物たちがやってきて、アドバイスをしてくれます。お母さんは、りっちゃんのサラダで元気になったのでしょうか。

【最近入ったおすすめ本】

- 「虹の見える日」 澤田ふじ子 著 幻冬舎
- 「〇に近い△を生きる」 鎌田 實 著 ポプラ社
- 「まほろ駅前協奏曲」 三浦おん 著 文藝春秋
- 「疾風ロンド」 東野圭吾 著 実業の日本社
- 「人生はニャンとかなる」 水野敬也 著 文響社

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間■ 火曜日～土曜日／午前9時～午後7時 日曜日・祝日／午前9時～午後5時
■休 館 日■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

◎イベント
読書講演会

- 日時=2月1日(土) 13:30～
- 場所=文化センター 2階大研修室
- 参加料=無料
- 講師=かもう よしこ氏
- 演題=「町家カフェ もちなが邸からのメッセージ」

リサイクル市への古本の提供をお願いします

「捨てるのはもったいない、誰かに読んでもらえれば」こんな本があれば図書館にお持ちください。
●持ち込み期間=2月1日(土)～14日(金)

◎2月のスケジュール

月間行事	2月15日(土)～2月20日(木)	古本リサイクル市
1 土	読書講演会	13:30～
3 月	図書館休館日	
5 水	移動図書館車巡回①	14:10～15:35
8 土	おはなし会	10:30～11:30
10 月	図書館休館日	
12 水	移動図書館車巡回②	13:20～15:05
14 金	移動図書館車巡回③	13:20～15:35
15 土	おはなし会	10:30～11:30
17 月	図書館休館日	
19 水	ブックスタート(1歳児に絵本配布)	
	移動図書館車巡回①	14:10～15:35
22 土	おはなし会	10:30～11:30
23 日	ちょこっと講座「おひなさまづくり」	13:30～14:30
24 月	図書館休館日	
25 火	ドリームカー(子育て支援センター)	10:30～12:00
26 水	図書館休館日(館内整理日)	
	移動図書館車巡回②	13:20～15:05
28 金	喫茶「ふら〜っと」営業	9:45～11:00
	移動図書館車巡回③	13:20～15:35

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30

※移動図書館巡回

- ①飯野駅前地区体育館→飯野出張所
- ②岡元小学校→市立病院→さくら苑
- ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

そよる風吹く陽だまりに番つツ
コバネイナゴは命をつなぐ

京町 竹下妙子
生きとし生ける物の次世代へ命をつなぐという事は、自然の摂理であり、神秘であり、感動である。動植物は長い冬に耐え芽吹きを待つ。人生の「寒の内」も又しかりと云うべきであらうか。小春日の草原の中で自然界の命を見つめるひとときであった。(自註)

俳句

初日待つ人類といふまなざしで

中島 石坂伊左郎
初日の出の輝きは畏敬と感謝のころを抱かせます。時空を超えて遙かな眼差しを向けられるのは、人類の特権かも知れません。(自註)

詩

親 失格

京町 市田寛幸

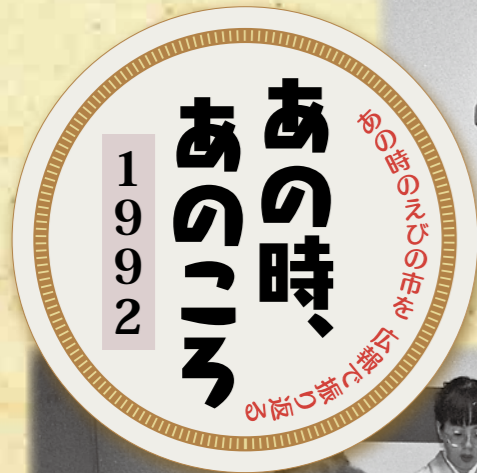
夕方 娘が ケーキを二ケ持ってきた
今日は、自分の誕生日なのに
何もなくて淋しかったので
せめてと ケーキを買ってきたと
ガーンと鉄槌で頭をなぐられた気がした
ごめんー ごめんネ
子供たちが帰って来てくれたことを
喜ぶだけで、子供や孫たちのいる
京都の地を離れて来た夫婦の
淋しさを解ってやれなかった
せめて、こちらから
「オメテウ」と云って
小さなケーキでも贈ってやればよかった

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37-3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33-4904 (詩) ポエム同好会(石井高子さん) ☎ 33-0010まで



消防団出初式に幼稚園児も参加

1月12日、湯田橋下流の川内川河川敷で開かれたえびの市消防団出初式に、第二和光幼稚園とえびの幼稚園の園児たちが参加。消防団の通常点検の後、鼓笛演奏とハシゴ乗りを披露しました。園児たちは、高さ2メートルのハシゴの上で見事なハシゴ乗りを披露しました。(平成4年1月号掲載)



新春かるた大会

1月5日、新春かるた大会が行われました。大会には、小学生から83歳のかるた愛好家に参加しました。

(平成4年1月号掲載)



白鳥神社初市

1月1日、白鳥神社で「白鳥神社初市」が行われました。今年で3回目を迎える初市では、白鳥地区で採れた野菜や花が店頭並びました。会場は、多くの買い物客と参加者でにぎわいました。

(平成4年1月号掲載)



このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

個人住民税(市・県民税)均等割の額が年額1,000円引き上げられます

東日本大震災を教訓に、県や市町村が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、臨時の措置として個人住民税(県民税+市民税)均等割の税率が年額1,000円(県民税500円、市民税500円)加算されます。

【加算される期間】平成26年度分から平成35年度分までの10年間

【主な用途】公立学校の耐震化対策や防災無線の整備、橋りょうの耐震化、地滑り対策など

問市税務課市民税係

☎35-1111(内線213・216)

問県税務課

☎0985-26-7020

市税の延滞金等(国民健康保険税含)の割合が変わります

国税での延滞金等の割合の見直しに合わせ、市税における延滞金等の割合を改正します。

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日以降
延滞金(納期限1か月経過後)	14.6%	9.2%
延滞金(納期限1か月以内)	7.3%	2.9%
還付加算金	7.3%	1.9%

※平成25年12月31日以前に滞納となっている市税は、平成25年12月31日までは見直し前の割合となり、平成26年1月1日以降は見直し後の割合になります。

問市税務課収納対策室

☎35-1111(内線214・217・218)

障害者控除対象者認定書の交付について

心身に障害のある65歳以上で、身体障害者手帳および療育手帳等の交付を受けていない人が、次の認定基準に該当する場合、「障害者または特別障害者に準ずる者」として所得税および市県民税の申告において所得控除を受けることができます。認定を受けるには、申請が必要です。

【申請に必要なもの】

・障害者控除対象者認定申請書(長寿介護課窓口にあります)

・障害者控除対象者と申請者の印鑑

【申請できる人】障害者控除対象者本人またはその親族に限ります。

【認定基準日】申請年度の12月31日

【認定書の交付】介護保険要介護認定の資料に基づいて審査(要介護認定を受けていない場合は面接や聞き取り調査による審査)し、該当者に認定書を交付します。

【認定基準】

次の認定基準に該当する場合、障害者控除対象者認定書を交付します。

控除の区分	認定対象者	認定基準
障害者控除	知的障害者(軽度・中度)に準ずる人	認知症高齢者の日常生活自立度がII、IIIの人
	身体障害者(3級～6級)に準ずる人	障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)がAの人
特別障害者控除	知的障害者(重度)に準ずる人	認知症高齢者の日常生活自立度がIVまたはMの人
	身体障害者(1級、2級)に準ずる人	障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)がBまたはCの人
	寝たきり老人	常に就床を要し、複雑な介護を要する状態(概ね6か月以上臥床(がしよう)し、食事および排便等の日常生活に支障のある状態)

問市長寿介護課高齢者係

☎35-1111(内線253)

オリーブの栽培をしてみませんか

市では、オリーブの栽培を希望する人を対象に、説明会を行います。

【日時】2月上旬 午後7時～

【場所】JAえびの市本店2階大研修室

※オリーブの苗は、ゴールド工業(株)から無償提供

※オリーブは排水良好な土地を好む樹木です。

※苗の植付本数は、10aあたり40本です。今年度の予定植栽面積と苗の本数の合計はそれぞれ2.5ha、1,000本です。

※説明会への参加を希望する人は、1月31日までに以下までご連絡ください。

問市畜産農政課農産園芸係

☎35-1111(内線226)

問JAえびの市農産園芸課

☎33-5756

ミツバチを飼育する皆さんへ飼育には届け出が必要です

養蜂振興法により、すべてのミツバチの飼育者は、毎年1月中旬に飼育届の提出が義務づけられています。

ただし、趣味の飼育者(ハチミツやミツバチ等を販売していない人)で、自然巣洞または重箱式巣箱で飼育している人は届出不要です。

ミツバチの飼育者で届け出をしていない人は、飼育届の提出をお願いします。

【届出先】西諸県農林振興局

詳しくは、西諸県農林振興局または市畜産農政課畜産振興室までお問い合わせください。

問西諸県農林振興局

☎23-3166

問市畜産農政課畜産振興室

☎35-1111(内線236)

宮崎ねんりんピック2014選手募集

今年5月に、スポーツ・文化種目を通じ、高齢者などの生きがいや健康づくり、地域間の交流などを図ることを目的とした「宮崎ねんりんピック2014」が開催されます。

27種目のスポーツ・文化種目の参加者を募集します。

【開催日】5月18日(日)、19日(月)

【開催地】宮崎市ほか

【競技種目】ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ターゲット・バードゴルフ、弓道、剣道、なぎなた、インディアカ、グラウンドゴルフ、太極拳、バウンドテニス、四半的弓道、ミニバレーボール、ソフトバレーボール、ミニテニス、ボウリング、ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、パークゴルフ、水泳、卓球バレー、囲碁、将棋

全27種目(スポーツ25種目、文化2種目)

【申込期限】2月3日(月)～2月28日(金)

【対象】60歳以上の宮崎県民(昭和30年4月1日以前に生まれた人)

【参加費】500円(参加記念品代、傷害保険料等)

【申込方法】市長寿介護課高齢者係または、両出張所に申し込みください。

申・問市長寿介護課高齢者係

☎35-1111(内線253)



◎今月の表紙

1月5日、文化センターで行われた平成26年成人式。会場周辺では、旧友との再会を喜ぶ姿が見られました。

今月の納税

個人市県民税 第4期

国民健康保険税 第7期

後期高齢者医療保険料 第7期

1月31日(金)までに納めましょう。

人口 20,372人(-15人)

男性/ 9,520人(-14人) 女性/ 10,852人(-1人)

転入/ 37人 転出/ 33人

出生/ 13人 死亡/ 32人

世帯数 8,974世帯(-21世帯)

(平成26年1月1日現在)

成人式の取材に行ってきました。新成人の皆さんと話をすることができました。話を聞いた皆さんは、とても初々しかったです。16年前は、私もこんなに初々しかったのかなと、わが身を振り返りました。(川野)

Editor's



写真:二ホンノウサギの足跡 (平成25年12月22日えびのエコミュージアムセンター付近)

足跡をたどって

木も草も雪の布団に覆われる中、雪のおかげで、動物たちが生きていることを知ることができます。

厳 冬期に入り、えびの高原はマイナス10℃以下まで冷え込むことがあります。木も草も雪の布団に覆われて眠りの中、変化の少ない穏やかな日々です。

次々と花が咲く春が恋しくなりますが、この時期ならではの楽しみもあります。雪が降った翌朝、辺りを歩いてみるとさまざまな足跡が残されています。ケンケンパをしたような跡はノウサギ、二つのひづめはシカ、ぴよんぴよん跳ねているのはテン、小さな足跡の間にはまっすぐ尻尾の跡があるのは野ネズミ、野鳥の足跡もあります。足跡を見分けることができれば、面白いのは動物たちの行動を想像すること。向こうの茂みからやってきて、立ち止まって行ったり来たり、それから草原のほうへ走って行ったようだ。足跡をたどっていくとふんが落ちていて、その中には近くにある木の実の種が入っていることもあります。雪のおかげで身の回りにたくさん動物たちが生きていることを知ることができます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

アニマルトラッキング
 animal tracking

動物の足跡、糞(ふん)、食事をした跡などを観察しながら追跡し、生態を観察して自然に親しむこと。